

リハビリテーション科・リハビリテーションセンター

1. 概要

リハビリテーション科の診療はリハビリテーションセンターと、院内各病棟のベッドサイドで行っている。

外来診療は、市内の病院・医院では行っていない小児の運動・言語発達遅滞、神経難病を中心として、また当院退院後の短期間のリハビリを行っている。

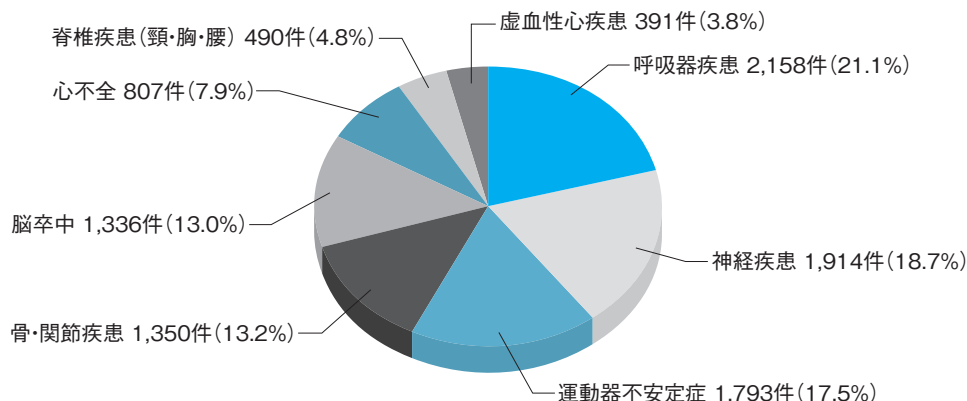
入院診療は、脳卒中や頭部外傷、脳神経や脊髄神経の疾患に対する脳血管リハビリ、骨・関節の外傷や疾患への運動器リハビリ、心筋梗塞・狭心症や心不全の心大血管リハビリ、肺炎や慢性閉塞性肺疾患などの呼吸器リハビリ、また、嚥下障害に対する嚥下リハビリを行っている。当院では急性期リハビリが中心であり、地域連携パスを通じて回復期リハビリ病棟を持つ病院に転院できるシステムが整えられている。

2014年には、がん治療のために入院されている方への個別療法であるがん患者リハビリに対応可能なスタッフを増員した。また、入院患者の日常生活動作を維持・向上するためのリハビリ体制構築を準備している。

(部長兼センター長 石川 知志)

●疾患別頻度

総件数：10,239件



●リハビリテーションセンター利用状況

区分	平成26(2014)年度	平成25(2013)年度	平成24(2012)年度
延患者数(人)	92,919	93,191	83,998
1日平均(人)	380.8	381.9	341.5
外来開院日数(日)	244	244	246

※病院事業収支及び活動状況(報告)

学会発表（医局）

<リハビリテーション科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	浅腓骨神経感覚神経活動電位を用いた腰椎椎間孔狭窄症診断の有用性	筆頭演者	石川 知志	第51回リハビリテーション医学会学術集会	2014/6/5